

ミートコンパニオン十日町工場

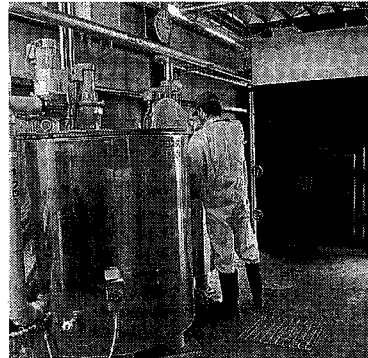
産廃油脂活用へ
新ボイラー導入

食肉加工のミートコンパニオン(東京都立川市)は、冷凍食品や加熱調理品などを手がける新潟県第2工場デリカセンター(新潟県十日町市)に新しいボイラーを導入した。産業廃棄物だった脂を使うのが特徴で、環境ベンチャーのグリーンエナジー(十日町市)が技術協力した。工場内の経費を減らし、二酸化炭素(CO₂)の排出も抑える試みだ。

デリカセンターは2005年に稼働した。稼働率が上がっていくと、問題点が明らかになってきた。工場内を洗浄する時に出る動物性油脂だ。浄化槽に流れ込んで浮

門業者に処理を委託していた。地元業者になく、長岡市内まで運んでいたこともあり、かなり費用がかかっていた。

昨年春、十日町市からグリーンエナジーのバイオマスボイラーの紹介を受けた。高野直人センター長は「今まで処理費用



デリカセンターが導入したバイオマスボイラー(右奥)は廃油を燃料に使う(十日町市)

経費削減、エコにも一役

き上がるこの油。フロス(浮上油脂分)と呼ばれ、年間200ト近く発生する。産業廃棄物として専

を払っていたが、逆にフロスをすべて自社のエネ

の環境対策にもつながる。高野センター長によると、産廃処理費がゼロとなり、工場内では食品加工の

と、産廃処理費がゼロとなり、工場内では食品加工の

バイオマスボイラーも引き続き使う。10日町市の「バイオマスタウン構想」に基づき、国の補助を受けられ

これまでに実証試験を兼ねた段階だったが、今後は30%のCO₂削減を目標にする考え。グリーンエナジーの小海孝雄社長は「県内の他の食品工場にも広めたい」と意気込

新潟

新潟県 0255-2222-7547
新潟県 0255-837-1000